

公共交通に関する市民アンケート調査等の実施について

1 市民アンケート調査

(1) 調査の目的等

- 公共交通を利用する人・しない人も含めた市民の日々の移動実態（どこからどこへ、どの交通手段を利用しているか）を把握する。
- 市内の公共交通（電車・バス・タクシー）の利用頻度及び改善すべき点、今後の公共交通への転換意向を把握する。
- 上記結果をもとに、地域別の公共交通の利用頻度及び満足度の評価を実施。
- 市民の意見をもとに、あしがるバスのルート・ダイヤ改正に向けて、公共交通の更なる利便性向上のために必要な取組を検討する。

(2) 調査方法

住民基本台帳から無作為抽出<sup>※</sup>した 20 歳以上の市民 2,000 人を対象に、郵送により調査票を配布し、郵送回収又は web 回答でアンケート調査を実施。

(※) 今回の無作為抽出は、年齢、地域、性別について区分し、比例割り当てにより全区分において対象者を無作為抽出する「層化無作為抽出」を指す。

(3) 調査予定時期

令和 7 年 11 月 6 日発送（回答締切 11 月 25 日（火））

(4) 調査内容等 ※ 資料 1－2 を参照

- 通勤・通学及び日常生活の移動場所・施設と利用交通手段を把握するための設問を設ける。
- 「顕在ニーズ（＝現在のバス利用者）」と「潜在ニーズ（バス利用可能だが現在は利用していない方）」のそれぞれのニーズを把握できるようにする。
- 調査の負担を軽減するため、調査票は全体で A 4 × 4 枚までに押さえつつ、回答者に分かりやすい表記に努める。
- 前回調査結果（令和 5 年）との比較を行うため、前回調査と同様の設問構成としつつ、新たに鉄道やあしがるバスの利用促進に向けた設問を追加し、あしがるバスのルート・ダイヤ改正において必要な取組の把握等を行う。

2 利用者ニーズ調査

(1) 調査の目的等

- あしがるバスの利用者の利用実態（乗車区間、乗り継ぎの有無等）及び改善要望を把握する。
- 利用者の生の声で改善点を聞き出し、あしがるバスのルート・ダイヤ改正に向けての検討素材とする。

(2) 調査方法

コミュニティバス車内に調査員 1 名を配置し、利用者への調査票の直接配布、バス車内降車口での回収を基本とし、適宜、聞き取りを実施。

(3) 調査予定時期

令和 7 年 11 月 17 日（月）～19 日（水） 3 日間（全ルート・全便）

(4) 調査内容等 ※ 資料 1－3 を参照

- 利用路線・便ごとの乗降停留所を集計する。
- 他の路線や公共交通への乗り換え状況を把握する。
- バスの運行改善に向けた具体的な改善要望を把握する。
- 調査票はハガキタイプとし、車内で簡単に記入または聞き取りができるように工夫する。

3 今後のスケジュール

時 期	内 容
令和 7 年 11 月 6 日	市民アンケート調査 調査票発送（11 月 25 日締切）
11 月 17 日～19 日	利用者ニーズ調査 3 日間（全ルート・全便）
12 月上旬～	調査結果の集計・分析
令和 8 年 3 月	調査結果報告（令和 7 年度第 3 回地域公共交通会議） 調査結果の公表（市ホームページ）
4 月～	あしがるバスのルート・ダイヤ改正に向けた検討